令和５年度

歴史総合

11　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	2	6	2	2

教科書	学習書・副教材等
新選　歴史総合　（東京書籍）	問いからはじまる　歴史総合　（東京法令出版）

学　習　目　標

世界と日本の歴史を関連付けながら理解し、社会的事象の歴史的な見方･考え方を働かせて課題を考察する活動を通して主体的に生きようとする態度を養い、民主的な社会を支える公民としての資質･能力を次のように育成することを目指す。

⑴近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身に付けるようにする。

⑵近現代の歴史の変化に関わる事象について、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

⑶近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学　習　内　容

前期試験範囲	（１）第１章　１節：歴史と私たち，２節：歴史の特質と資料 第２章　１節：近代化への問い，２節：結び付く世界と日本の開国	（第１回レポート）
	（２）第２章　３節：国民国家と明治維新 ４節：近代化と現代的な諸課題	（第２回レポート）
	（３）第３章　１節：国際秩序の変化や大衆化への問い ２節：第一次世界大戦と大衆社会	（第３回レポート）
後期試験範囲	（４）第３章　３節：経済危機と第二次世界大戦 ４節：国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	（第４回レポート）
	（５）第４章　１節：グローバル化への問い ２節：冷戦と世界経済	（第５回レポート）
	（６）第４章　３節：世界秩序の変容と日本 ４節：現代的な諸課題の形成と展望	（第６回レポート）

学　習　方　法

＜報告課題（レポート）＞

教科書・学習書（資料集）をよく読むと解答できる設問になっています。問題文が次のページにまたがっている場合もあります。また，本文だけではなく，欄外や資料集からも出題するので，丁寧によく読んで理解し，解答してください。

＜面接授業（スクーリング）＞

スクーリングでは，各回のレポート締め切り日に近い回のレポートを解説します。義務時数（２時間）の確保だけで終わることなく，積極的に出席してください。

＜試　験＞

試験には，前期・後期それぞれのレポートの学習内容を確認する問題を出題します。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの評価，スクーリングの出席状況，試験の成績を総合的に評価します。

レポートの評価は次の観点から行ないます。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料を適切かつ効果的に活用する技能や概念的な理解に基づく知識を獲得している。	歴史的事象を多面的・多角的に考察し，各自が判断しながら表現している。	各自が粘り強く学習に取り組み，次の学びに向けての課題を見出そうとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

問題文をよく読み，教科書・学習書（資料集）を丁寧に調べることが大切です。問題文を読み取るのに時間がかかると思いますが，あせらず粘り強くレポート作成に取り組んでください。